TOSHIBA

Pocket PC

GENIO e 550X 550X/MD

クイックスタートガイド

セットアップ

パソコンとの接続

通信設定

付属の『東芝 Pocket PC 一年間保証お申込書』を必ずご返送ください。
ご返送いただきますと、３ヶ月間の保証が１年間になります。
その他、様々なサポートを受けることができます。

2001.12

クイックスタートの手順

はじめに付属品をご確認ください。

付属品

スタイラス	1本	クイックスタートガイド	1冊（本書）
USBクレードル	1個	取扱説明書	1冊
ACアダプタ	1個	ソフトウェア使用許諾書	1式
電源コード	1本	保証書	1枚
ソフトケース	1個	マイクロドライブ（550X/MDのみ）	1個
コンパニオンCD	1枚	取り出しテープ（550X/MDのみ）	2枚

セットアップ

1. バッテリースイッチを「供給」にする
2. 電池を充電する
3. 充電後、電源ボタンを押して電源をONにする
4. 初期セットアップを行う

パソコンとの接続

1. 「Microsoft Outlook2002」をインストールする
2. 「Microsoft ActiveSync 3.5」をインストールする

通信設定

1. インターネットの接続設定
2. 電子メールの接続設定

GENIO e 550X
550X/MD

クイックスタートガイド

もくじ

最新の情報は、ホームページをご覧ください。

http://genio-e.com/

各部のなまえと機能

●本体

アラームランプ
内蔵電池の充電状態や
アラーム時刻になったことを
お知らせします。

マイク

録音ボタン
（プログラムボタン5）
押している間、録音できます。

赤外線ポート

リセットスイッチ
本体をリセット（再起動）するときや
初期化するときに押します。

プログラムボタン
（左から1, 2, 3, 4）
ボタンに割り当てられている
プログラムを起動します。

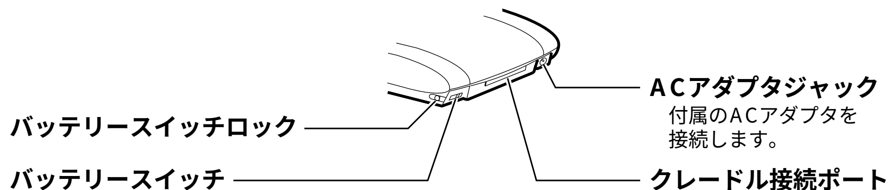
※プログラムボタンの初期設定
1 ……「予定表」
2 ……「仕事」
3 ……「ホーム」
4 ……「連絡先」
5 ……「ボイスレコーダー」

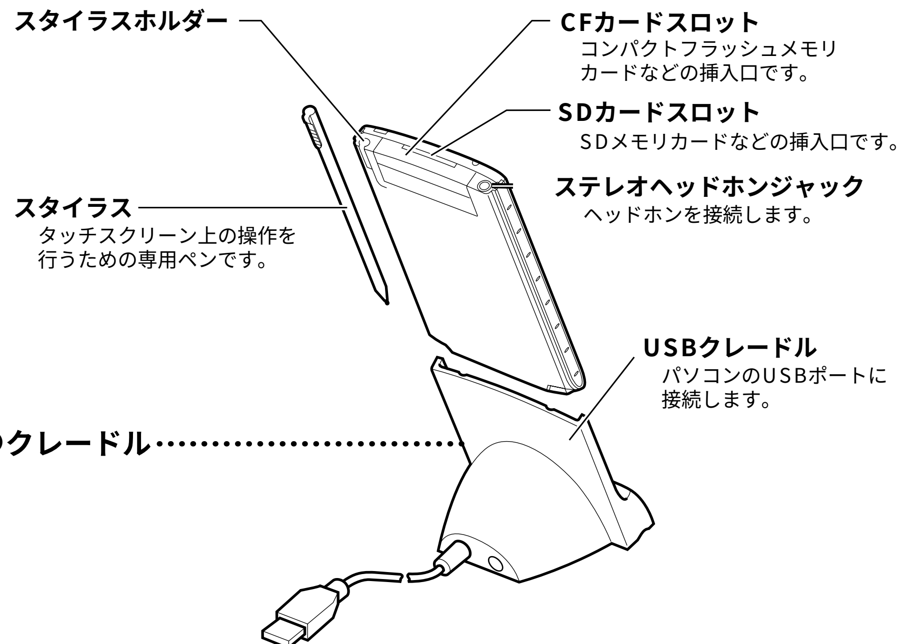
電源ボタン
電源をON/OFFします。
電源をONのとき長く押すと
フロントライトがON/OFF
します。

タッチスクリーン

スピーカ

カーソルボタン
カーソルを上下左右に動かします。
カーソルボタンの中央を押すと、
選択したプログラムなどを
起動できます。





■スタイラスの使い方

●タップ

タッチスクリーンを軽く1回タッチする操作です。
画面上のメニュー、アイコン、ボタンなどを選択するときに使います。

●タップアンドホールド

タッチスクリーンをタップして押し続ける操作です。
画面上のアイコンや項目を「タップアンドホールド」すると
ポップアップメニューが表示されます。

●ドラッグ

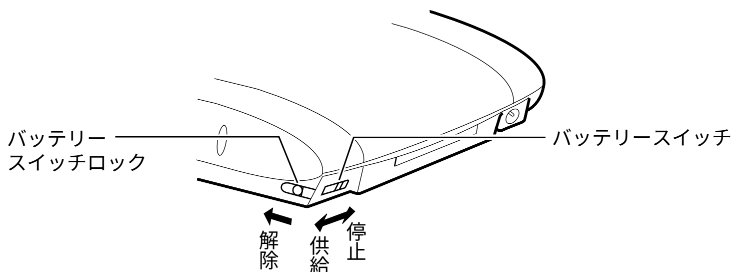
タッチスクリーン上をスタイラスを使って、引きずる（ドラッグ）操作です。
画面上のアイコンなどの移動や手書き入力、描画するときにこの操作をします。

セットアップ

1 バッテリースイッチを「供給」にする

バッテリースイッチは、工場出荷時は「停止」になっています。お買上げ後、初めてお使いになるときは、ボールペンのペン先などで「供給」側に移動してください。通常は「供給」にしておきます。

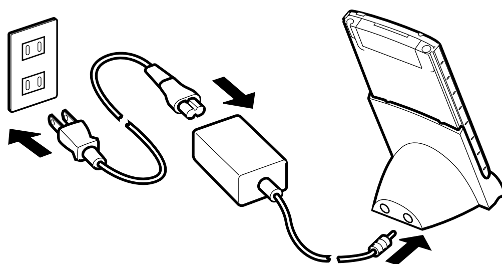
バッテリースイッチを「供給」から「停止」に移動するときは、バッテリースイッチロックをスタイラスで「解除」側に押しながら行います。



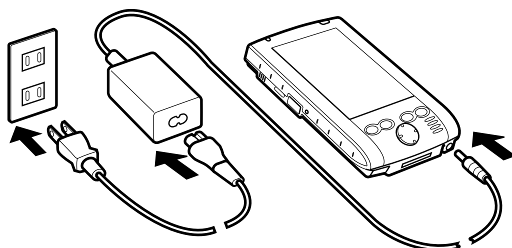
2 電池を充電する

充電には2つの方法があります。

①付属のACアダプタとクレードルを右図のように接続し、本体をクレードルに差し込みます。



②付属のACアダプタと本体を右図のように接続します。



Check!

- 充電中は、アラームランプがオレンジ色に点灯します。
- 充電が完了すると、アラームランプが緑色に点灯します。

3 充電後、電源ボタンを押して電源をONにする

「ようこそ」という画面が表示されます。

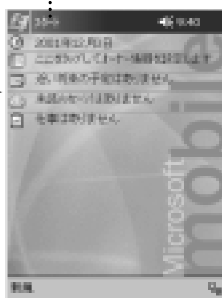


4 初期セットアップを行う

①画面の指示に従って、初期セットアップを行ってください。
②「完了」の画面が表示されたら、初期セットアップは終了です。
画面をタップすると、「Today」画面になり、本体を使用開始できます。







「Today」画面

左上の「スタート」をタップすると、ポップアップメニューが表示されます。メニュー枠の外をタップすると消えます。



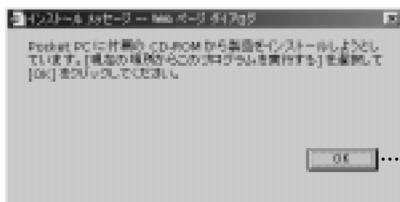
❶「Microsoft Outlook2002」をインストールする

※パソコンに、すでにOutlook2002がインストールされている場合は、この作業は不要です。
❷（P.12）に進んでください。

Check!

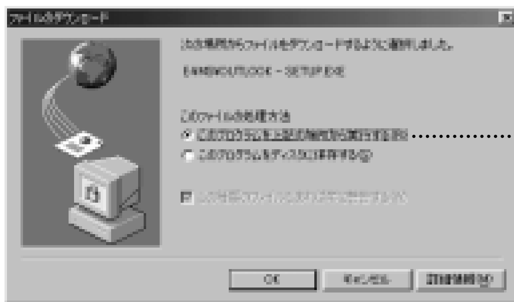
この時点では、まだパソコンとUSBクレードルを接続しないでください。

①パソコンのCD-ROMドライブにコンパニオンCDを挿入してください。
CD-ROMが起動したら、「開始ページ」→「Outlook2002のインストール」→「インストール」とクリックしてください。次のような画面が表示されます。



「OK」をクリックしてください。

②次の画面では、「このプログラムを上記の場所から実行する（R）」を選択して、「OK」をクリックしてください。



こちらを選択してください。

③この画面では、「はい」をクリックしてください。



ご使用のOSによって、クリック後、④または⑧の画面が表示されます。
ご確認の上、作業を進めてください。

④システムファイルのアップデートを行います。

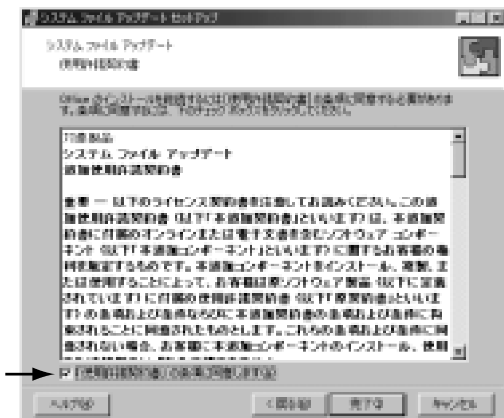




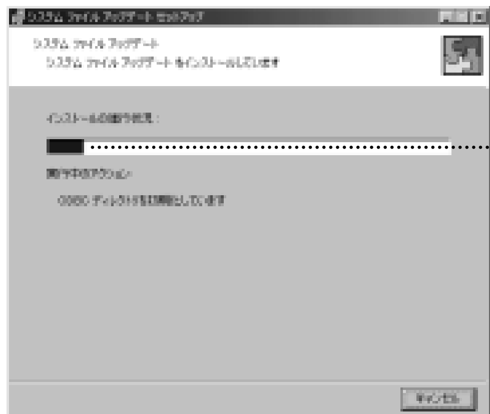


「次へ」をクリックしてください。

⑤「「使用許諾契約書」の条項に同意します（A）」にチェックして、
「完了」をクリックしてください。



⑥システムファイルのアップデートが開始されます。



進捗状況がバーに表示されます。

途中、実行されているプログラムを終了してアップデートを続けてください。
（画面が表示されます）

アップデートが終了したら、パソコンを再起動してください。

システムの設定が更新されます。

⑦コンパニオンCDが起動しましたら、①②③の手順を繰り返してください。

⑧「はい」をクリック後、しばらくすると次の画面が順次表示されます。











CDキーを入力して、「次へ」をクリックしてください。

⑨インストールの種類を指定する画面が表示されます。

＜すでにOutlookがインストールされている場合＞



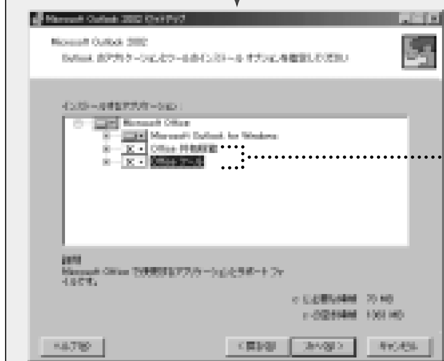
「次へ」をクリックしてください。

＜Outlookがインストールされていない場合＞



「カスタム」を選択して、
「次へ」をクリックしてください。



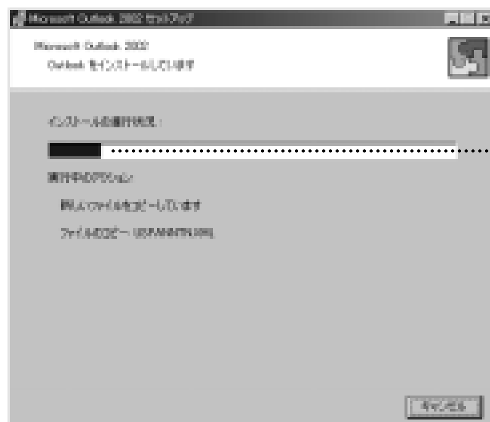


「Office共有機能」
「Officeツール」
を“ × ”にして、「次へ」を
クリックしてください。

⑩インストールする内容が表示されます。
「完了」をクリックしてください。



⑪インストールが始まります。終了まで、しばらくお待ちください。



進捗状況がバーに表示されます。

⑫インストールが終了しました。
「OK」をクリックしてください。



⑬Outlook2002を起動させ、画面の指示に従って設定してください。

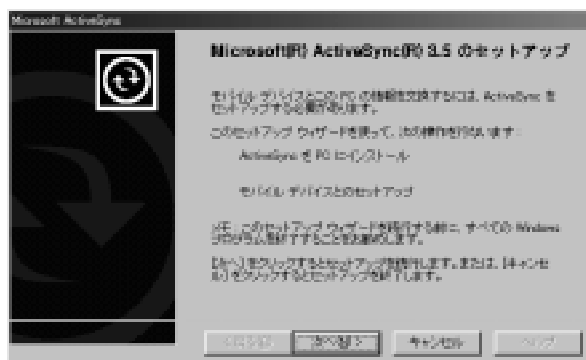
❷「Microsoft ActiveSync 3.5」をインストールする

※パソコンのCD-ROMドライブにコンパニオンCDを挿入して、CD-ROMを起動させてください。

Check!

この時点では、まだパソコンとUSBクレードルを接続しないでください。

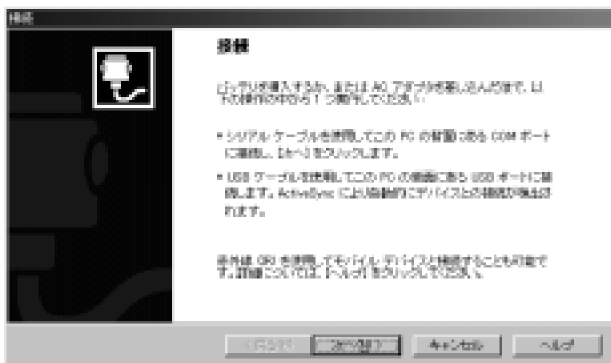
① メインメニューから「開始ページ」→「ActiveSync 3.5のインストール」→「インストール」とクリックし、P.6の①〜③と同じ手順で進んでください。
P.6-③の画面で「はい」をクリック後、しばらくすると、
「Microsoft(R) ActiveSync(R) 3.5 のセットアップ」の画面が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。



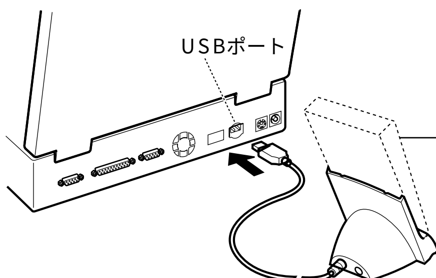
② 「セットアップフォルダの選択」の画面が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。
※ファイルのコピー、システムの更新が行われますので、しばらくお待ちください。



③「接続」の画面が表示されます。



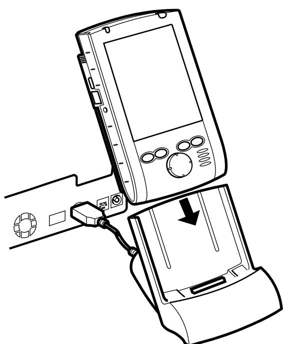
●USBクレードルをパソコンのUSBポートに接続してください。

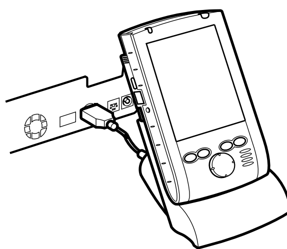


Check!

この時点では、まだ本体をUSBクレードルに接続しないでください。

●本体を電源OFFの状態で、USBクレードルに接続してください。

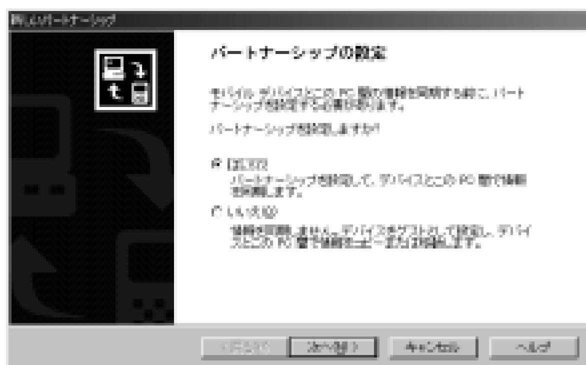




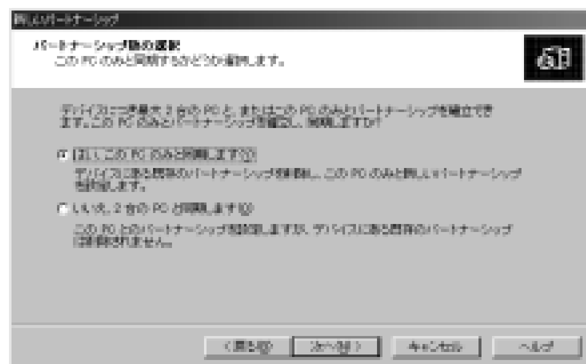
奥までしっかり
差し込んでください。

●本体の電源が自動的にONになります。

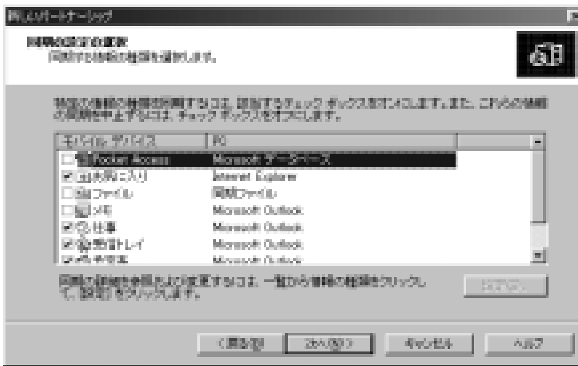
④しばらくすると、「パートナーシップの設定」の画面が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。



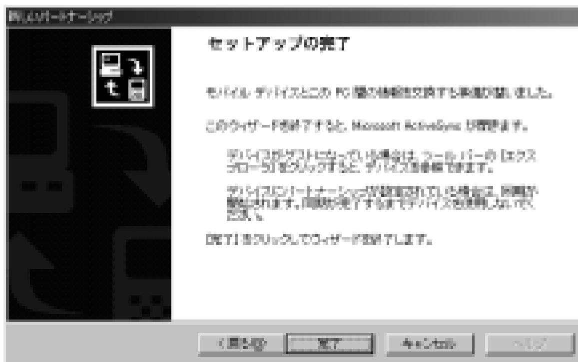
⑤「パートナーシップ数の選択」の画面が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。



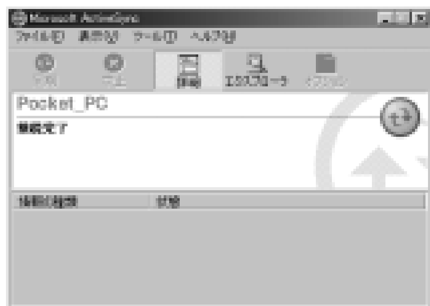
⑥「同期の設定の選択」の画面が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。



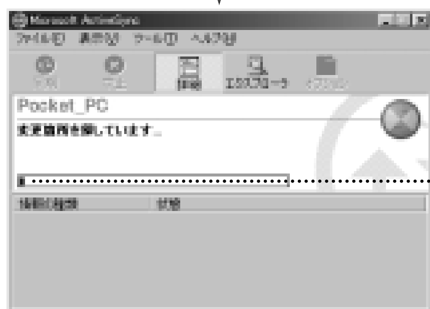
⑦「セットアップの完了」の画面が表示されます。
「完了」をクリックしてください。



⑧「接続完了」の画面が表示され、しばらくすると同期を開始します。







進捗状況がバーに表示されます。

⑨途中、「プロファイルの選択」画面が表示されたら、そのまま「OK」をクリックしてください。
また、「結合/置換」画面が表示されたら、適当な項目を選択して、「OK」をクリックしてください。

⑩「接続完了、同期完了」の画面が表示されます。



これで、パソコンとの接続は終了です。

1 インターネットの接続設定

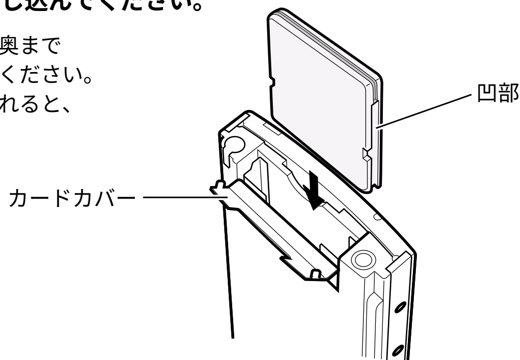
Check!

- 携帯電話をご利用になる場合は、携帯電話接続ケーブル（オプション・別売品）をご使用ください。なお、本体にはドライバがインストール済みですので、ケーブルに付属のドライバはインストールしないでください。
- CFタイプのPHSカード（P-in m@ster や C@rd H" 64 petit）をご利用になる場合は、設定の前にカードを本体に取り付けてください。

カードの取り付けかた

1) 本体の電源をOFFにしてください。
2) カードカバーを開けてください。
3) CFカードスロットの凸部とカード側面の凹部が合うように、向きを確認して差し込んでください。

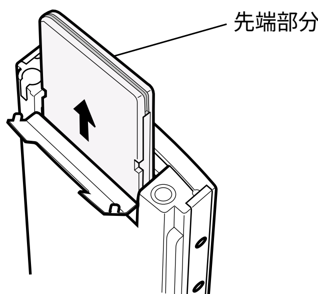
・カードは、静かに奥まで確実に差し込んでください。
・カードが差し込まれると、電源が入ります。



カードの取り外しかた

1) 本体の電源をOFFにしてください。
2) カードの先端部分を指でつまんで、静かに引き抜いてください。

・カードを引き抜くと、電源が入ります。



①「スタート」メニューから「設定」を選択すると「設定」の画面が表示されます。

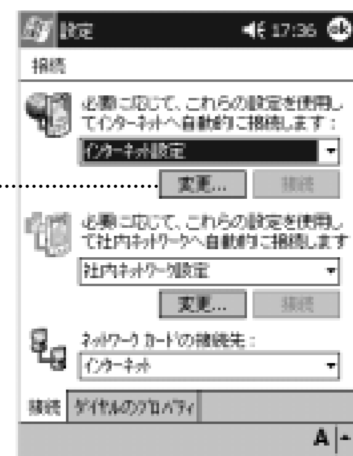




「接続」タブをタップしてください。

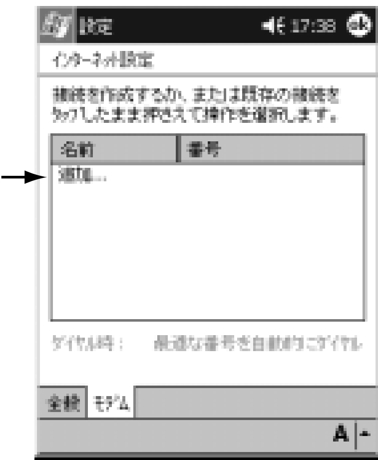
②次の画面で「接続」アイコンをタップすると、「接続」の画面が表示されます。





「変更...」をタップしてください。

③「インターネット設定」の画面が表示されます。



「追加...」をタップしてください。

④「新しい接続」の画面が表示されます。



「接続名」には、内容がわかるような名前を入力してください。
例えば、プロバイダ名などを入力しておけば、後でわかりやすいでしょう。
（ここでは、infoPepperを例にしています）

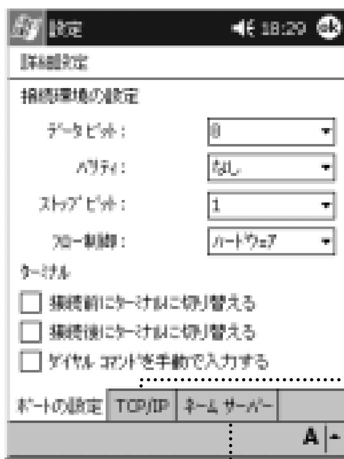
「モデムの選択」と「通信速度」は、ご利用になるCFタイプのPHSカード、携帯電話に合わせて設定してください。

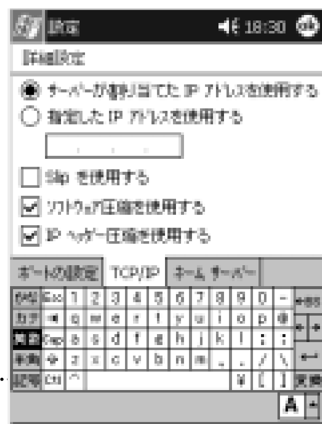
※左図は、「NTT DoCoMo P-in Comp@ct」の場合です。
その他につきましては、下表をご参照ください。

	「モデムの選択」と「通信速度」
NTT DoCoMo P-in m@ster	NTT_DoCoMo-P-in_m@ster 115200
AirH" card petit	TDK-RH2000 115200
C@rd H" 64 petit	Nitsuko-CF_PHS_Module 115200
携帯電話（cdmaOne）	COM5 上のcdmaOne接続：115200
携帯電話（PDC）	COM6 上のPDC 接続：19200

各フィールドに入力後、
「詳細設定...」を
タップしてください。

⑤「詳細設定」の画面が表示されます。
「ポートの設定」では、通常変更の必要はありません。





「TCP/IP」も、通常変更の必要はありません。

「ネームサーバー」タブをタップしてください。

⑥この画面では、「指定されたサーバーアドレス」を選択してください。



プロバイダの指定に従って、
入力してください。

※「プライマリDNS」「セカンダリDNS」は、
プロバイダによって、次のような呼び方があります。

プライマリDNS	Domain Name Server（1） ドメインネームサーバー DNSサーバー DNSネームサーバー DNSサーバーアドレス　など
セカンダリDNS	Domain Name Server（2） ネームサーバー（2）　など

各フィールドに入力後、
右上の ok を
タップしてください。

⑦「新しい接続」の画面に戻ります。

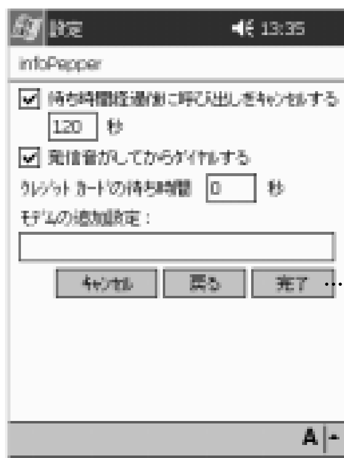
「次へ」をタップしてください。

⑧この画面では、接続先の電話番号を入力してください。

CFタイプのPHSカードまたは携帯電話に対応しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力してください。

「次へ」をタップしてください。

⑨この画面では、通常変更の必要はありません。



……「完了」をタップしてください。

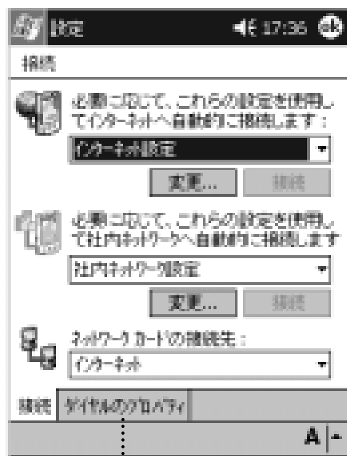
⑩「インターネット設定」の画面が表示されます。



…… 今作成した接続名の項目が追加されています。

右上の ok をタップしてください。

⑪「接続」の画面に戻ります。



「ダイヤルのプロパティ」タブをタップしてください。

⑫この画面では、「発信元」と「電話回線の設定」を入力してください。





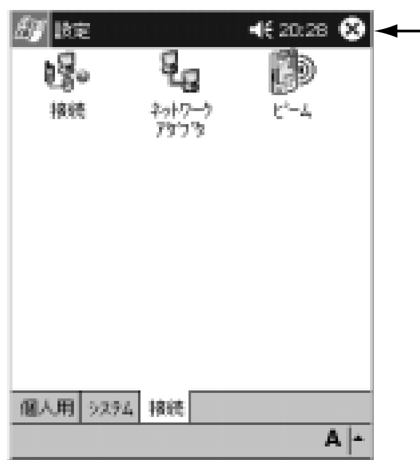
「発信元」は、「PHS」か「携帯電話」を選択してください。

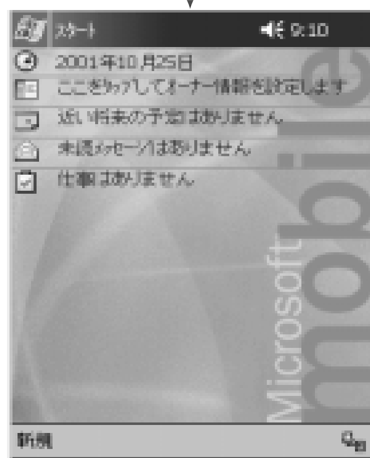
「トーン」を選択してください。

これで、インターネットの接続設定は終了です。

右上の ok をタップしてください。

⑬「設定」の画面にもどりますので、右上の ⊗ をタップしてください。





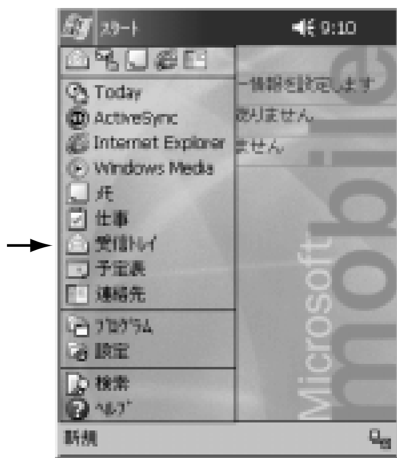
「Today」画面に戻ります。

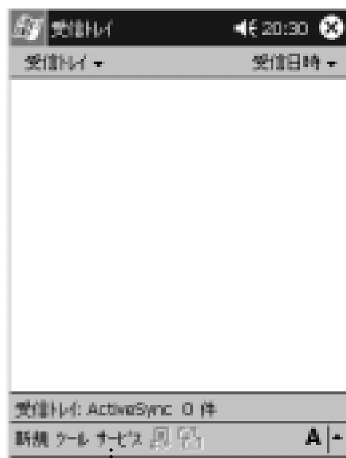
❷ 電子メールの接続設定

Check!

CFタイプのPHSカードまたは携帯電話は、取り外してください。

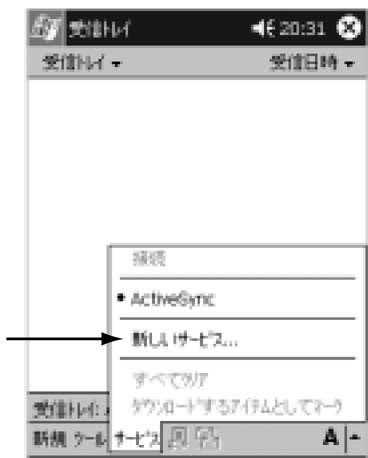
①「スタート」メニューから「受信トレイ」をタップしてください。。





「サービス」をタップしてください。

②メニューの中から「新しいサービス...」をタップしてください。



③「電子メールのセットアップ（1/5）」の画面が表示されます。

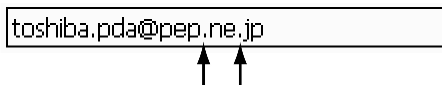


下の「*Check!*」をご参照の上、
メールアドレスを入力して、「次へ」を
タップしてください。

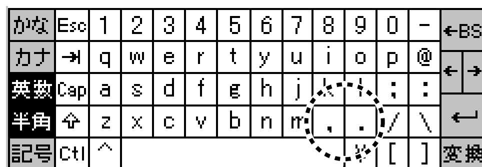
Check!

メールアドレスの入力にあたりましては、下記の点にご留意ください。

■カンマ（,）とドット（.）の違い
一般に、メールアドレスにはドット（.）が使われています。



入力パネルのキー配列では、カンマ（,）とドット（.）は隣同士にあります。



右側のドット（.）を
入力してください。

④「電子メールのセットアップ（2/5）」の画面が表示されます。
「状態：」のフィールドの表示（「完了」）を確認してください。



▼本体を USB クレードルに接続していると、
「接続中」の表示がしばらく続きます。
そのまま「完了」になるまでお待ちください。

接続中...

「状態：」のフィールドが
「完了」になったら、
「次へ」をタップしてください。

⑤「電子メールのセットアップ（3/5）」の画面が表示されます。
「ユーザ情報」を入力してください。



差出人として相手方に表示されます。

プロバイダから指定されたメールサーバへ接続するための「ユーザ名」「パスワード」を入力してください。
（「ユーザ名」には、P.26で入力したメールアドレスの@より前の部分が自動的に表示されます。）

※「ユーザ名」「パスワード」は、
プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザ名	メールアカウント名 メールボックス名 ユーザID メールログイン名　など
パスワード	メールパスワード 接続パスワード ログインパスワード　など

各フィールドに入力後、
「次へ」をタップしてください。

⑥「電子メールのセットアップ（4/5）」の画面が表示されます。

「POP3」か「IMAP4」のいずれかを選択してください。一般的には「POP3」が使われています。

サービス名を入力してください。
プロバイダ名を入力しておくとよいでしょう。

各フィールドに入力後、「次へ」をタップしてください。

⑦「電子メールのセットアップ（5/5）」の画面が表示されます。

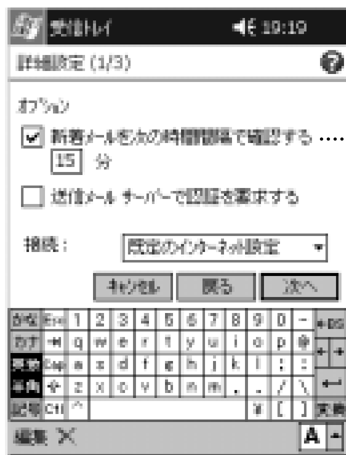
プロバイダから指定された
・受信メールサーバ（POP3、IMAP4）名
・送信メールサーバ（SMTP）名
を入力してください。

通常入力の必要はありません。

各フィールドに入力後、「オプション」をタップしてください。

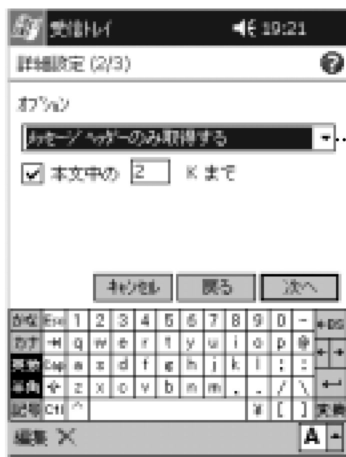
⑧「オプション」の画面が表示されます。
「オプション」は、3画面用意されています。「次へ」をタップして順に表示させることができます。

＜オプション1＞



必要ない場合は、□をタップして、チェックをはずしてください。

＜オプション2＞

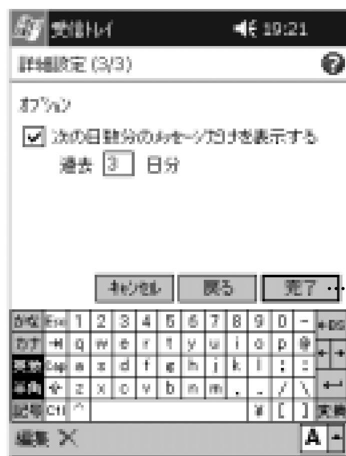




「ﾒｯｾｰｼﾞ ﾍｯﾀﾞ-のみ取得する」を選択した場合、メールを受信してもメールサーバ上のメールは削除されません。

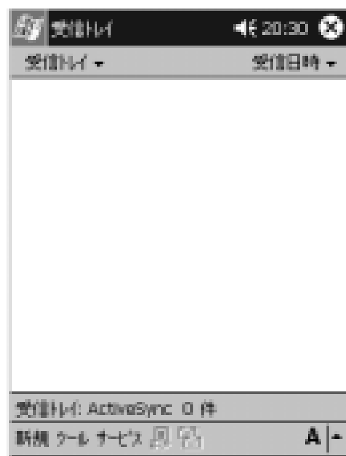
「ﾒｯｾｰｼﾞ の全文を取得する」を選択した場合、受信メールを削除して、再びメールサーバにアクセスするとサーバ上のメールも削除されます。
受信メールを削除しなければ、サーバ上のメールは削除されません。

＜オプション3＞



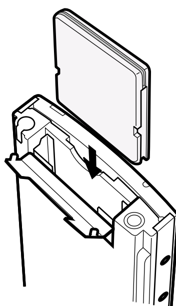
「オプション」の設定後、
「完了」をタップしてください。

受信トレイに戻ります。

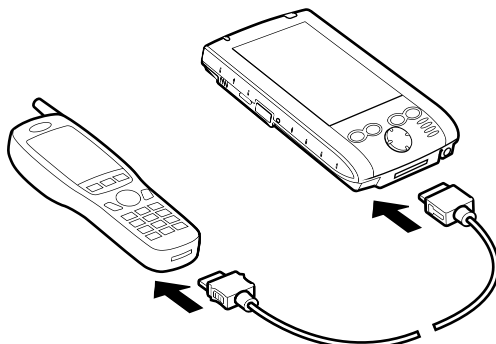


これで、電子メールの接続設定は終了です。

⑨それでは、接続してみましょう。
本体の電源を切り、CFタイプのPHSカードまたは携帯電話を接続してください。



P.18参照

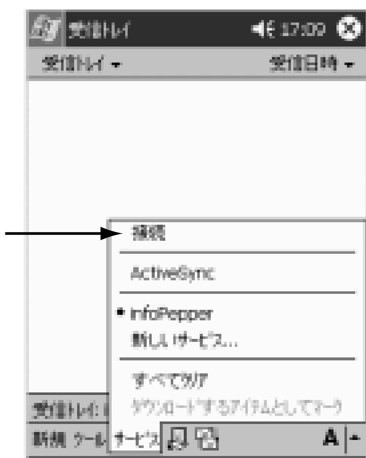


本体にはドライバがインストール済みですので、ケーブルに付属のドライバはインストールしないでください。

Check!

本体がUSBクレードルに接続されている場合は、取り外してください。

電源を入れて、「受信トレイ」の画面を表示させます。
下の「サービス」をタップし、「接続」を選択してください。



「ネットワークへログオン」の画面になりますので、各フィールドに入力して「OK」をタップしてください。

ユーザー名：a1b23456@pep.ne.jp
パスワード：*****
ドメイン：
パスワードの保存
OK　キャンセル

プロバイダによっては、
@以降が不要の場合があります。
プロバイダに接続するための「ユーザ名」を入力してください。

通常、入力の必要はありません。

※「ユーザ名」「パスワード」は、プロバイダによって、次のような呼び方があります。

ユーザ名	コネクションID ユーザID ID番号 PPPログイン名 ダイアルアップログイン名 アカウント　など
パスワード	コネクションパスワード PPPパスワード ダイアルアップパスワード ログインパスワード　など

接続が開始され、しばらくすると「接続完了」のメッセージが表示されます。
接続を切るときは、「サービス」から「切断」をタップしてください。

本商品には、次のようなオプション（別売品）があります。
本商品をより便利に利用するために、必要に応じてお買い求めください。

品　名	形　名
USB接続ケーブル	CEX0101A
シリアル接続ケーブル	CEX0102A
携帯電話（cdmaOne）接続ケーブル	CEX0103A
携帯電話（PDC）接続ケーブル	CEX0104A
リモコン付きイヤホン	CEX0105A
Bluetooth™ SDカード ※1	CEX0106A
ACアダプタ	CEX0107A 注
USBクレードル	CEX0108A 注
シリアルクレードル	CEX0109A
スタイラスペン（3本）	CEX0110A
サイドパネル（4色）	CEX0111A
モバイルバッテリチャージャ ※2	CEX0113A
オリジナル高級本革ケース※3	CEX5001A
オリジナルカジュアルケース※3	CEX5002A

※1　2001年12月発売予定
※2　2002年1月発売予定
※3　2001年12月発売予定

注：本体付属品と同じです。

株式会社 東芝 モバイルコミュニケーション社